令和６年度版　Here We Go! 5・6 の使い方

内容解説資料

令和 6 年度版 Here We Go! 5・6 は、音声や映像等を使って良質で豊富な英語のインプットを与え、少しずつステップアップしながら話したり、慣れ親しんだ表現を英語で書いたり、読んだりすることで、英語の力を着実に養います。

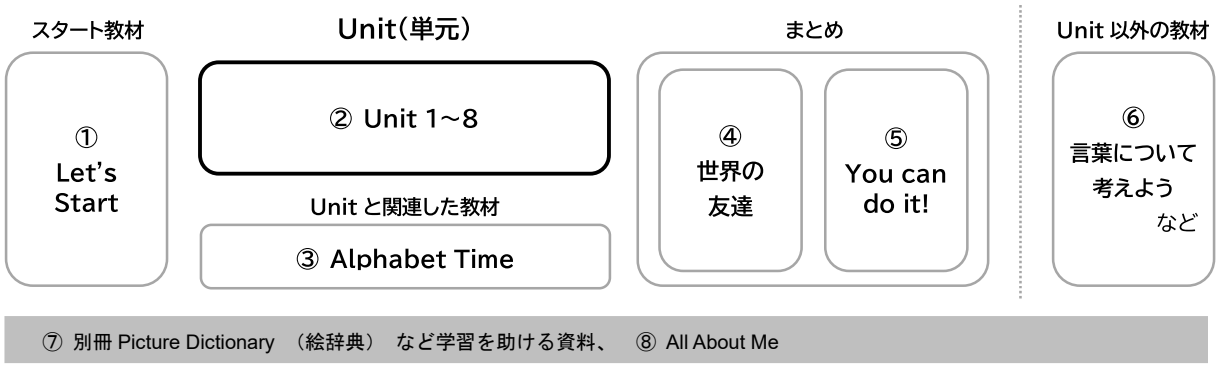
1. 教科書の全体構成

Here We Go! 5・6 は、各学年とも 8 つの Unit（単元）を中心に構成されています。

各学年のスタート教材 Let's Start で前の学年までに学習したことを復習した後、Unit（単元）の学習に入っていきます。Unit と関連した教材 Alphabet Time も使いながら、学習の幅を広げます。

各学年に 3 か所設定されている「まとめ」の「世界の友達」「You can do it!」では、これまでの Unit で学習した表現を受容・発信する場面を用意し、児童のパフォーマンスを評価できます。5 年に 2 か所、6 年に 3 か所設定されている「言葉について考えよう」では、コミュニケーションのための他者意識などを養います。

また、巻末には取り外して利用できる別冊 Picture Dictionary（絵辞典）などの学習を助ける資料や、学習成果が一覧できるシート All About Me が用意されています。



2. 各コーナーのねらいと構成

① Let's Start

各学年とも、巻頭にスタート教材 Let's Start を置いています。Unit の学習に入る前に、これまで学んだことのポイントを確認し、その後に続く単元の学習にスムーズに移行します。

・Let's Start の概要

5 年	6 年	内容
Let's Start 1 いつも「たいせつ」		英語でコミュニケーションをする際に大切な、Smile（表情豊かに）、Eye Contact（目と目を合わせて）、Clear Voice（はっきりとした声で）、Response（相手の言葉に反応しながら）を確認します。左側を飛び出すように開いておけば、どのページを開いても「いつも『たいせつ』」が確認できます。
言葉の準備運動 どんな気持ちかな	言葉の準備運動 気持ちをこめて伝えよう	コミュニケーションのために必要な基本的な態度を、簡単な活動を通じて学びます。
Let's Start 2 3、4 年生で学習した表現		音声を聞いて、中学年（3〜4 年）の外国語活動で学習した主要な表現や場面を確認します（5 年のみ）。
Let's Start 3 アルファベット	**Let's Start 2** アルファベット	アルファベットの音を確認しながら、ABC の歌を歌ったり、文字を追いながら言ったりします。

② Unit（単元）の構成

各学年とも、8 つの Unit（単元）で構成されています。

Unit は、Hop! → Step 1 → Step 2 → Jump! の流れで学習が進み、それぞれが見開きで構成されています。Hop! は導入、Step 1 と Step 2 は展開、Jump!はゴールにあたります。

Hop!



（5 年 p.58-59）

導入

右ページの上に Unit 全体の Goal（めあて）を示しており、学習の見通しが立てやすくなっています。

Small Talk のアニメーションでトピックへの導入をはかります。**Story** では、パノラマのイラストとアニメーションのストーリー映像を使って、英語が使われている場面や状況・話題を確認します。

Let's listen and point. では、パノラマのイラストや Picture Dictionary を使い、学習する語句に慣れていきます。

Step 1・2



（5 年 p.60-61）

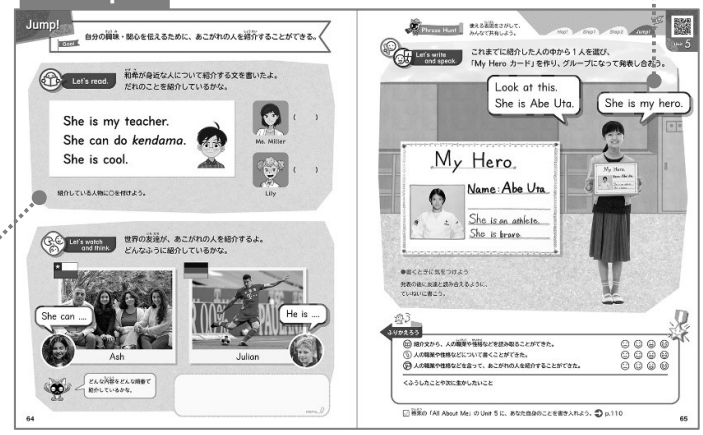
展開

左ページの **Let's watch.** で、映像を見て基本表現を確かめます。**Let's listen.** の音声で基本表現の聞き取りをし、**Let's chant.** でリズムに乗って基本表現を練習します。

右ページの **Small Talk** で既習表現を使ったやり取りをします。**Let's try.** で、お互いの考えや気持ちを伝え合うアウトプット活動を行い、**Plus One** では、別の相手に伝えたり、詳しく尋ねたりすることで思考力・判断力・表現力を育みます。最後に **Let's write and read.** で、学習したことを書いてから、声に出して読む活動を行います。

Jump!

重点化領域の活動②



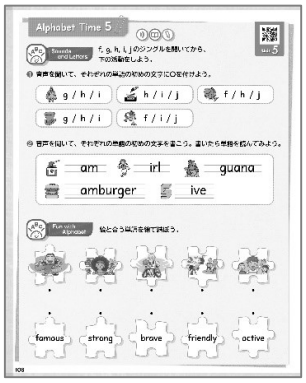
（5 年 p.64-65）

ゴール

左ページ上は「重点化領域の活動①」とし、ここまでに慣れ親しんだ語句や表現を確かめ、評価の対象となる活動を行います。**Let's watch and think.** では、世界の映像を見て異文化への理解を深め、表現の幅を広げます。右ページは「重点化領域の活動②」で、Step 1, 2 で学んだ語句や表現、そして既習表現を加えお互いの考えや気持ちを伝え合う活動を行います。**Phrase Hunt** の表現をクラス全体で確認し、ヒントにもできます。最後に**ふりかえろう**で、自己評価をします。

重点化領域の活動①

③ Alphabet Time 1〜8



（5 年 p.106）

Unit の活動と合わせて行う、アルファベットの読み書きを学習するためのページです。5 年 Alphabet Time 1〜3 は Unit の直後に配置し、大文字と小文字をスモールステップで学べるようになっています。4 以降は巻末にまとめ、系統的な文字の学習ができるようにしました。



（5 年 p.61 脚注）

Sounds and Letters を、5 年 Unit 4 以降の脚注に設けました。口に出して「音」に慣れ親しんだ後、巻末の Alphabet Time では、アルファベットを読んで書く活動を行います。**Fun with Alphabet** は、Unit 内で慣れ親しんだ単語や文を楽しみながら読み書きするコーナーです。

④ 世界の友達

各学年に 3 か所、Unit 3、Unit 6、Unit 8 の後に設定された「まとめ」の言語活動の 1 見開き目です。主に「聞くこと」「読むこと」の活動を行い、受容する力を見取ることができます。全 12 名の実在する世界の小学生たちのメッセージを撮り下ろし映像で紹介。多様な視点を育み、異文化理解にもつながります。



（5 年 p.76-77）

【登場する小学生たちの国】

5 年

(1)ノルウェー、南アフリカ

(2)中国、オーストラリア

(3)アゼルバイジャン、イギリス

6 年

(1)モルディブ、アメリカ

(2)タイ、チリ

(3)韓国、ドイツ

⑤ You can do it!

「まとめ」の言語活動の 2 見開き目です。主に「やり取り」と「発表」の活動を行い、発信する力を見取ることができます。学期ごとに 5 領域の活動をバランスよく設定してありますが、「まとめ」ではとくに記録に残す評価を行う場面として活用できます。



（5 年 p.78-79）

金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」を発想のもとにして、Everyone Is Special の詩を発表したり、地球市民の一人であることを実感できる Me on the Map 作りに取り組んだりするなど、「多様性」や「共生」の意識を育てる豊かな言語活動を設定しています。

⑥ 言葉について考えよう

5 年に 2 か所、6 年に 3 か所設定されています。国語での学びを生かし、英語でもよりよい言葉の使い方に気づくための教材です。

5 年　・日本語と英語のちがい　・心をつなぐ言葉

6 年　・英語になった日本語　・文の組み立て　・相手の心に届くスピーチ



（5 年 p.66）

⑦ 別冊 Picture Dictionary （絵辞典）

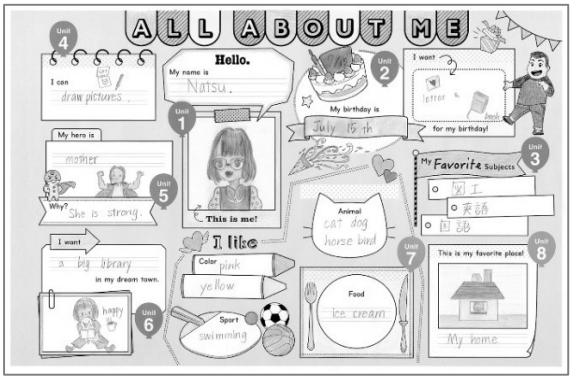
本体から取り外しが可能で、教科書と一緒に開いて参照することができます。食べ物や職業などのカテゴリごとに整理し、各 Unit の言語活動で使いやすい語句を厳選して掲載しています。前の学年で出会った語がわかるように足跡マークがついているので既習語句に自覚的に何度も触れることができます。



（5 年 Picture Dictionary p.12-13）

⑧ All About Me

Unit の学習の最後に、自分のことを一つずつ書き込んでいくことで､年間の自分の学びが可視化されるシートです。年度末には 1 年間の学びの記録として、できるようになったことが一目で確認できるポートフォリオになります。できあがったシートは､海外や地域外とのオンライン交流や、中学 1 年の自己紹介で使うなど、幅広く活用することができます。



（5 年巻末）

3. 教科書で使われている記号

わかりやすい記号を使用し、やるべきことが一目でわかるようになっています。

Goal	Unit の目標を確かめる	Let's chant.	英語のチャンツを言う
場面・状況	ストーリーの場面や状況を確かめる	発音	発音の注意点を確かめる
Let's sing.	英語の歌を歌う	Response	受け答えをするときに役立つ表現
Small Talk	短いアニメを見て、簡単なやり取りをする	Phrase Hunt	ゴールの活動で使えそうな表現を探す
Picture Dictionary	参照する別冊の絵辞典のページ	ふりかえろう	その教材の重点化領域について自己評価を行う
About You	Unit の主題を主体的に考えるための問いかけ	Link 国語	他教科との連携を示す

4. 二次元コードによる資料提供

二次元コードがあるところには、学習の参考となる動画などの資料が小社ウェブサイトに用意されています。児童が使用する際には、機種やインターネット環境によってはアクセスできない場合があること、通信料が発生する場合があることなどについて、注意が必要になります。ご指導の際にはご留意ください。